

2007年3月27日

株式会社ソフトフロント
代表取締役社長 阪口 克彦
(証券コード番号:2321)

ソフトフロント、北海道新聞社の Web サイトシステムを開発 ～新聞社サイトとして最新機能を実装し、4月1日にリニューアル・オープン～

株式会社ソフトフロント(札幌本社:札幌市、代表取締役社長:阪口 克彦 以下、ソフトフロント)は、株式会社北海道新聞社(本社:札幌市、代表取締役社長:菊池 育夫氏 以下、北海道新聞社)の Web サイト(<http://www.hokkaido-np.co.jp/>)が4月1日にリニューアルオープンするに伴い、技術協力、システム開発を行いました。

リニューアルされるサイトは、新しいユーザーインターフェースとして、利用者が自分で記事をジャンルごとにレイアウト表示することができる他、表示する記事数も利用者自身で設定できる機能が追加されました。また、新たに観光、グルメなどの情報検索で、地図機能とのマッシュアップ(*1)も実現、利用者は北海道各地の観光地やイベントなどの情報をスクロールする地図の上から検索できるようになります。さらに、今後は観光情報に関する投稿やランキングへの投票を受け付ける CGM (Consumer Generated Media)機能も順次加えていきます。新聞社サイトとして最新の機能を実現したことにより、サイトが情報発信の場だけでなく、利用者同士の情報交換の場としても活用されることが想定されます。

開発を担当したソフトフロント SC 事業本部は、先進技術による新しいサービス、魅力的なアプリケーションを提供することを通じて、来るユビキタスネット社会を技術的に支えることを目指し、地域の IT 企業との協業を通じ事業を展開しています。今回は、ソフトフロントの技術レベルに加え、開発期間の短さも評価され、採用にいたりました。

【各社からのコメント】

株式会社北海道新聞社 メディア局長 富高勇雄 氏

弊社ウェブサイトのリニューアルにあたり、サポートバレーの有力企業であるソフトフロント様に開発をお願いし、短い開発期間のなか、最新技術を織り込んだサイトが完成したことを大変喜ばしく思います。弊社が地域とともに成長する機会として、今後とも地元企業との連携を大切にしていきたいと考えております。

株式会社ソフトフロント 取締役会長 村田 利文

この度は、地元札幌を代表する情報企業である北海道新聞社様の、さらなる情報化の推進に貢献できたことを大変嬉しく思っています。今回のサイト・リニューアルを機に、サイトがさらに注目を浴び、ますます多くの利用者の方たちに、便利に心地よく使っていただくことを期待すると共に、今後もサイトの機能向上に協力させていただきたいと考えております。

用語説明

(*1) マッシュアップ

Web 上で提供されている情報やサービスなどを組み合わせて、新しいソフトウェアやサービス、データベースなどを作ること。マッシュアップとして生み出される Web サービスの内容は様々で、例えば地図の表示と郵便番号データを対応させるものから、あるキーワードについて議論しているブログとショッピングサイトの関連製品を同時に表示させるものなどがある。

株式会社ソフトフロント

1997年設立の SIP と VoIP を核技術としたソフトウェア開発企業です。「技術を愛し、技術を提供することによって、社会変革の牽引役となり、豊かな社会を実現すること」を企業理念として、事業を展開しています。また、SC 事業本部では産学官連携の取り組みに積極的にに関わり、そこでの成果を地域の要請である新事業育成に結び付けていきます。さらに今後、当社がこれまで育ててきたコミュニケーションシステム構築・サーバー開発・アプリケーション開発などをベースに新規事業開発を行ってまいります。

URL: <http://www.softfront.co.jp>

【本リリースに関するお問い合わせ先】

株式会社ソフトフロント

管理本部 広報担当

(東京本社) 中村 電話:03-3568-7007 FAX:03-3568-7008

E-mail: press@softfront.co.jp

【本製品に関するお問い合わせ先】

株式会社ソフトフロント

SC 事業本部 営業グループ

電話:011-623-1001 FAX:011-623-1002